大太鼓が修理のために旅立ちました。

去る５月 17 日（金）、本校は中間考査の二日目でしたが、金曜日ということで部員たちにも少しだけ余裕がありました。午後１時３０分、いつものように大太鼓を体育館から中庭に下ろします。演奏会の度におこなっている運搬作業とはいえ、これは本当にキツイ作業です。

御覧のように、体育館の出入り口は太鼓が通るギリギリの幅です。そして階段の手すりの幅もギリギリです。もちろん、体育館がギリギリなのではなくて、体育館にギリギリ入るように大太鼓の大きさを決めたのでした。しかし、このギリギリがなかなか手ごわくて、手を挟まないように、太鼓をぶつけないように注意しながら、そして何より階段を踏み外さないようにゆっくりゆっくり降りていると、重さがずっしりと腰にきて、最後は「もうムリ～！」という感じになります。

午後２時、予定通りに大型トラックが本校に到着し、中庭に入ってきました。トラックの横腹には「太鼓の里　浅野」の文字が。そうです、今日はあの浅野太鼓さんが私たちの大太鼓を修理するために迎えに来てくださる日なのです。

聞けば、朝４時に石川県白山（はくさん）市の本社を出発し、８時間走ってやって来たとのこと！休む間もなく、大太鼓を積み込みます。

今から再び８時間かけて、石川県まで帰られるそうです。どうか安全運転でお願いします。ご老体の大太鼓もどうか長旅に耐えられますように。記念撮影をして、いざ出発！

さて、某日某所。何に使うのか大きな木材が置かれた傍らに、見覚えのあるトラックが停まっています。後ろには作業場らしき建物もあります。もしかしてここは…。(壁を見ればわかりますが。)

立入禁止の扉をそっと開けて中に入ってみると、ありました。私たちの大太鼓が今まさに解体されようとしています！　二人が息を合わせて汗びっしょりになりながら一気にロープを外しています。

いよいよ、大太鼓の修理が始まったのを目の当たりにして、ついにここまでたどり着けたという実感がフツフツと湧いてきました。たくさんの方々の温かいお気持ちとご支援が、今、実を結ぼうとしています。

修理期間は約一か月。今からいろいろな工程を経て、生まれ変わった大太鼓が帰ってくるのを待ちたいと思います。大太鼓の帰校についてももちろん報告させていただく予定です。お楽しみに！